(一社)千葉県道路舗装協会 会長

特集

間

全っております。 付 鑽を積むための研修事業 技術集団として、 持てる技

舗装施工管理技術者を

経年変化等を報告書として

「試験舗装追

や応急復旧に必要な命のう道』、災害時には、『助

に追跡調査を実施し、その

てまいります

普段は"人と物が行き交

提言などに引き続き努め

舗装工事完成から3年後

発注者へ報告いたします

また、県から会員が受注

「県民生活の安全・安

している事案、現状にお

工会員など多くの御参

を深めていただけるように

り快適な道を整備するため

これからも当協会は、

「試験舗装追跡調査の手引

を作成しました。

から、受注法人が追跡調査

させていただきました。 寿命化への取り組みも紹介

具体的内容について理解

ようになってきていること

県内法人へ発注される

装工事につきましては近

上法・新素材の工事を紹介

アスファルト舗装の長

さらに、県発注の試験舗

年4月に創設した当協会 団法人へと移行 **術を十分発揮するととも** は、平成25年4月に一般 この間、長年培ってきた 発注者側の方々にも広 会員はもちろんのこ 加をいただいております 識が要求されていることか 導者を講師に迎えて「舗装 技術研修会」を開催し、国・ はか、千葉県土木施工管

設業協会関東支部の技術指



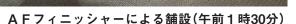
発注者にも広く確

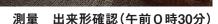
舗装に関する技術の向上

願っております。 を取得していただくことを 法人向け「試験舗装 追跡調査手引き」も

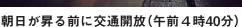
県民生活の安全を守る夜間 の概要に始まり、見開きに 施工による舗装修繕工 トを作成しました。 写真で皆さんに分かり

との実り多い情報交換を行 これらの事業を紹介する 『千葉のみちを守 協会













タイヤローラーでの2次転圧(午前3時30分) マカダムローラーでの1次転圧(午前2時30分)

県民生活の安全を守る舗装修繕工事

主要幹線道路や交通量の多い市街地では、通行への影響を最小限に抑 えるため、夜間工事として午後10時から翌朝午前5時に実施している。 限られた時間の中で、最大限の品質を確保しながら、県民の安全を守る 作業に取り組んでいる。





切削機による路面切削開始(午後10時30分)



路面清掃(午後11時)

一般社団法人千葉県道路舗装協会

平山 知太 (櫻工営㈱) 副会長 渡邉 義隆 (㈱大兼工務店) 石村 達雄 (石村建設㈱) 相談役 船越 博文 (㈱船越組)

- 当協会の主な事業 1.「舗装技術研修会」の開催 ※ 2.「舗装施工管理技術者資格試験の受験準備講習会」の開催 ※
 - 3.「試験舗装追跡調査及び報告書」の作成並びに「同報告会」の開催 4.「県との意見交換会」の開催
 - 5. 「県及び市町村からの設計見積依頼」等の支援対応

※(一社)全国土木施工管理技師会連合会継続学習制度(CPDS)単位取得対象

"人と物が行き交う道" "救助や応急復旧に必要な命の道"

県民生活の安全・安心を提供する道の整備・保全に向け、私達がその一翼を担ってまいります。

千葉·市原地区 (株)船越組 京葉工管(株) 新千葉建設(株) (株)南武建設 山十道路(株) 松倉工業(株) 本田土木工業(株) 杉田建設(株) 千葉ニチレキ(株)

葛南地区(㈱サンドテクノ(㈱保戸田組 高根建設㈱ 櫻工営㈱ 勝美建設㈱ 工営建設㈱ 東日本都市開発㈱ 不二公業㈱ ㈱長福 ㈱日本都市 カネケン京葉コミュニティ㈱ 京葉ガスエナジーソリューション㈱)土佐工業㈱) 千東建設㈱ 田丸興業㈱ 尾頭建設㈱ ㈱映光TY ㈱斉藤総業 雅野建設㈱ トキワ建設㈱ 武内建設㈱ ㈱鹿野建設

(株)松丸開発工事 (株)中川組

東葛飾地区 秋元興業㈱ **印旛·成田地区** 東豊土木工業(株) 東邦建設(株) 丸勝建設(株) (株)一福土木 萩原土建(株) 高秀建設(株)

香取地区 前田建設(株) **海匝地区** 阿部建設(株) (株)ニューテック康和千葉支店 **長生地区** 丸信工業(株) 太陽建設(株)

安房地区 安房舗装土木(株) (株)大兼工務店 田中建設(株) 君津地区 石村建設(株) 興和建設(株)

県外法人 東亜道路工業㈱千葉支店 (株)NIPPO 千葉統括事業所 福田道路㈱千葉営業所 < 5 3 会員> 事務局

〒260-0024 千葉市中央区中央港 1-13-1 千葉県建設業センター3階

TEL 043-246-7388 FAX 043-246-7385 E メール chiba-dourohosou@poem.ocn.ne.jp 特集「道路ふれあい月間」

について、現状や維持管理

は、高度経済成長期を中心

これらの道路施設の多く

に係る県の取り組みをご紹

を迎えるにあたり、「道路」

今年も道路ふれあい月間

しています。

管理(令和2年3月現在) 道(国管理を除く)県道を 延長約3500㎞の一般国

るとともに、

道路の法面対

引き続き対策に取り組み、

残る3箇所についても、

歩行者の安全確保に努めて

計画に基づき無電柱化を図

千葉県無電柱化推進

ています

点へのアクセス道路等につめ、緊急輸送道路や防災拠

施すべき対策は全て完了し ラー舗装など、速やかに実 空間の安全を確保するた

また、防災力向上や通行

箇所の対策を完了し、ガー 和5年3月末時点で646

ルの設置や路面のカ

ているところです

保と適切な維持管理に努め

た709箇所について、令

者として対策が必要とされ

斉点検」で、県が道路管理

県では、

小学校の通学路の緊急

施しているところです。

の点検と計画的な修繕を行 計画を策定し、5年に1

道路の安全な通行の確

策に取り組んでいます。

残る63対策箇所の 歩行者安全確保を

まいります。

介させていただきます。

千葉県では、2157の

定められております。

は「道路ふれあい月間」と ていただくため、毎年8月

道路とふれあい、道路の役道路を利用する方々に、

橋梁や

137のトンネルな

法で定められた施設は、長め、橋梁やトンネルなどの

り、令和3年に実施したの交通安全対策を進めてお

や

路上に捨てられたゴミ

御理解と御協力をお願い申

に努めてまい

道整備や、交差点改良など

できない箇所などの除草

雑草の繁茂で見通しが確保

に利用していただくため、

また、道路を安全・快適

通学路をはじめとした歩

同時期に高齢化を迎えるた に急速に整備され、今後、

割や重要性を改めて認識し

る慢性的な渋滞を解消 地域のポテンシャルを十 湾岸地域や北西地域におけ 絡道路については、 新湾岸道路や千葉北西連

進めています。 線化に向けた都市計画と環 境アセスメントの手続きを 新湾岸や千葉北西

いくため、早期の全線4車は、安全で円滑な交通の確

災拠点へのアクセス向上ため、災害拠点病院等の防 リダンダンシーの確保 芝IC間の整備が進められ ある大栄JCTから松尾横 て全面的に工事が展開され JCT間の4車線化に向け るとともに、県境から大栄 県内唯一の未開通区間で

北千葉道路は、外環道と

連絡道の早期具体

が必要です。 維持するために 社会を安定的に

さらなる振興や、平常時・ かした県内の様々な産業の これらの本県の強みを生

するため、圏央道や北千葉 災害時を問わない安定した 道路などの広域道路ネット を確保 割を果たす道路であり、令 市の区間について、 和3年度から市川市と松戸 成田国際空港を最短で結 防災力強化に大きな役 本県北西部の渋滞緩和 国によ

葉港、東京弯)コー・一や、国際拠点港湾である千

くの歴史的・文化的資源を

有するなど、多様な魅力に

あふれています。

「人・モノの流れ」

断する東京湾アクアライン

ビナートに代表される素材 などを有し、京葉臨海コン

速度低下や渋滞損失が発生

めとする県内では広範囲で

一方で、湾岸地域をはじ

していることから、交通の

り組んでいます。

圏央道は、アクアライン

ワーク等の充実・強化に取

る整備が進められており、

川市から船橋市間の

画の具体化が図られるよ 発揮させるため、早期に計

・エネルギー産業の集積

かけているところです。 早期事業化などを国に働き 力しているところです。 沿線市とともに国に協

クを形成する道路でありま の拠点を環状につなぎ、首 と一体となって、首都圏の 各都市と成田国際空港など 都圏の広域道路ネットワー も、県により用地取得及び 橋梁工事などを進めていま また、成田市側において 富津館山道路について

取り組んでまいりますの 今後とも、広域道路ネッ 皆様のご理解とご協力 ク等の充実・強化に

きます。

日本の空の表

鮮な海の幸・山の幸や数多

速な救命救急・復旧活動の

また、災害時における迅

と豊かな自然に恵まれ、

本県は温暖な気候

要です。

県県土整備部

道路整備課長

路整備

ポ

テ

ます。これに続く、

では、用地取得を進めてい

線から広域農道までの区間 めており、県道茂原大多喜 状況をご紹介させていただ

ネットワー

ク等の取り組み

されています。

スの取れた産業構造が形成

し、より一層の交流人口の

豊富な観光資源を生か

拡大に資する道路整備が必

る農林水産業など、バランや、全国屈指の産出額を誇

円滑化による生産性向上

際して、千葉県の広域道路

「道路ふれあい月間」

隣接都県との連携強化に 鉄道連続立体交差 県境の橋梁整備と 県境では限られ

茂原大多喜線までの2・5

いては、長南町道から県道

皮中の開通に向け整備を進

性的な交通混雑により交流 た橋梁に交通が集中し、 交差事業を進めています。 の踏切を除去する連続立体 対策として、新京成線と東 渋滞が発生しており、その 武野田線の2か所で、鉄道 これまでに、新京成線の

関連側道等の整備を進めて 現在、それぞれの高架下や 架化が完了したことから、 駅までの2・9㎞区間の高 3㎞及び東武野田線の野田 からくぬぎ山駅までの3・ 鎌ケ谷市内の鎌ヶ谷大仏駅 市内の清水公園駅から梅郷

重要です。葛南地域では、とから、県境の橋梁整備が

・連携が阻害されていると

います。 動を確保し、 化する災害に備えると共 に、人流・物流の円滑な移 引き続き、激甚化・頻発

安全・安心の確保やより良 より支援しております。 路アダプトプログラム」に などについて、 路の清掃・除草及び美化活 ティアで行っていただく道 よる維持管理が進められる 皆様との「協働・連携」に 境づくりを目標に、地域の にふさわしい快適な道路環 動に必要となる資材の支給 い道路環境づくりに向け 適切な道路の維持管理 地域の皆様にボラン より安全で地域 「千葉県道

アスファルト舗装の長寿命化への取り組み

【試験舗装を活用した取り組み】 高度に改質された各種ポリマー改質 アスファルトや特徴のある工法が開発され、 活用が進んでいる。 維持修繕の効率化、 LCCの低減、道路利用者負担の軽減、CO2排 出抑制などを実現するために千葉県では、ア スファルト舗装の長寿命化が不可欠であると 考え、試験舗装を活用。これらの効果的な活 【長寿命化舗装の概要】

に取り組んでまいります 上に資する道路整備の推進

で整備が進む圏央道など、 大限発揮させるため、県内

千葉のポテンシャルを最

業効果発現に取り組んでい の透明性の向上や早期の事 ため、

「千葉県道路整備プ

かつ計画的に推進していく

これらの整備を重点的

場野栄線までの5㎞区間に

を南房総地域にもたらす国

0号久留里馬来田バ

ーチェンジから県道八日市

また、

圏央道の整備効果

4年度に新規事業化し、

(仮称) 押切・湊橋を令和

通に向け整備を進めておついて、令和5年度中の開

イパスや、

東関道と銚子市

橋を含む県道越谷流山線バ

東葛飾地域では、 三郷流· 査設計を進めるとともに、

イパスについて、千葉県、

ログラム」を策定し、事業

接都県との連携強化、都及させる道路の整備や、

都市

については、

横芝光インタ 銚子連絡道路

化したところです。

整備のうち、

を令和5年度から新規事業 から一宮町までの5㎞区間

部の渋滞対策等を進めてお

局規格道路の整備効果を波

県内各地へ波及させる道路

高規格道路の整備効果を

進めています

す。
に向け整備を進めていま
に向け整備を進めていま

的な渋滞や踏切遮断によるは、交通集中により、慢性

業化し、全線で道路設計を

6号飯岡バイパス間の約13

はを令和4年度から新規事

見川東庄バイパス等につい

と共同で整備しています。 埼玉県及び埼玉県道路公社

さらに、都市部において

り、これに続く、

国道12

や東庄町方面とのアクセス

強化を図る国道356号小

県県土整備部

道路環境課長

花岡

美化ボラン

県道路ア

類に応じて、ポリマー改質アスファルトⅡ型やH型が使用される。近年は高度なポリマー アスファルト混合物の配 施工の工夫及びこれらの組み合わせによ り、アスファルト混合物のひび割れ抵抗性、 わだち掘れ抵抗性などの特性や機能性の向上 を実現する各種製品・工法が提案されてい

●高度なポリマー改質アスファルトの活用

=優れたひび割れ抵抗性やわだち掘れ抵抗性 に表層用混合物に適用する。 優れたひび割れ 抵抗性に見合ったわだち掘れ抵抗性を兼ね備 えたものは、超重交通路線に適用。 わみ追従性を付与したものは、リフレクショ ンクラックを抑制することで、長寿命化が期 待できる箇所などに適用。長寿命化(シナヤ カファルト)・ひび割れ抑制(高耐久クイッ

クコート・NT) など。 ●アスファルト混合物の配合、適用箇所の ックコートなど。

特性に応じたポリマー改質アスファルトの選 定、施工の工夫により、 る工法があり、主に表層に適用される。 排水やすべり抵抗性の向上といった機能性の 付加と、優れた耐久性を兼ね備えた工法や薄 機能の付加・回復と既設舗装の 保護効果により長寿命化を実現する工法など がある。適用箇所の特性や付加したい機能な どを勘案し、工法選定を行う。フルファンク ションペープ・POSMAC・ST・高耐久クイ

用方法について検討している。

代表取締役社長 石村 達雄

石村建設株式会社

〒293-0001 富津市大堀 1933 TEL: 0439-87-0623 FAX: 0439-87-1155 URL https://ismr.co.jp/

萩原 代表取締役

〒289-1603 山武郡芝山町大里 1553-3 TEL: 0479-78-1131 FAX: 0479-78-0646 URL https://www.hagiwaradoken.jp/

櫻工営 株式会社

知太 平山 代表取締役

〒274-0063 船橋市習志野台 2-61-2 TEL: 047-464-3511 FAX: 047-462-3994 URL https://www.sakurakouei.com/

觉 株式会社 南 武 建 設

〒290-0066 市原市五所 107 TEL: 0436-41-3732 FAX: 0436-41-3728

URL https://www.nanbu1964.com/

小野

代表取締役

裕

安房舗装土木株式会社

祐季 伊藤 代表取締役

〒294-0041 館山市高井 926 TEL: 0470-22-1361 FAX: 0470-22-1348



尾頭博行 代表取締役

〒279-0001 浦安市当代島1-26-21 TEL 047 (351) 8451 FAX 047 (351) 8342

本田土木工業株式会社

代表取締役 髙山 貴子

> 千葉県習志野市袖ケ浦1-10-11 TEL 047-453-6095 FAX 047-451-2388 E-mail: narashino6320@honda-doboku.jp : http://www.honda-doboku.jp



松倉工業株式会社

松倉年繁 代表取締役

〒276-0013 八千代市保品 2109 TEL: 047-488-4651 FAX: 047-488-4653 URL https://matsukura-kogyo.com



〒275-0021